

ケアハウスあやめ

ケアハウスあやめ



ケアハウスあやめ 施設長 城 敦司

昨年度下半期より、ケアハウス開設以来の入居者の認知症の行動・心理症状への対応や急変などでの入院や退居に追われた年でした。

平均年齢も90歳を超え、要介護度の高い入居者の入院、退居が続き、なおかつADL低下、認知症の進行などで、誰かの支援や介護サービスに頼らないと生活ができなくなっているのも現状です。

援助内容としては、生活援助(居室清掃・洗濯など)や身体介護(入浴介助など)、通所介護や通所リハビリ、福祉用具での対応をはじめ、職員も定期受診や救急外来への付添などが当たり前になってきました。今年度も「ココロとカラダの介護予防」、「料理作り・おやつづくり」、「筋力トレーニング」に重点を置き、入居者と一緒に取り組んでまいりましたが、入院や退居、職員の退職なども重なり決して十分と言えない状態でした。来年度はこれをどう乗り越えていくのか、大きな課題ができた年でもありました。

また、インフルエンザの流行などもあり、ボランティアも有効に活動できるような環境を整えることができませんでした。しかしその分、職員一同「たくさん動き、

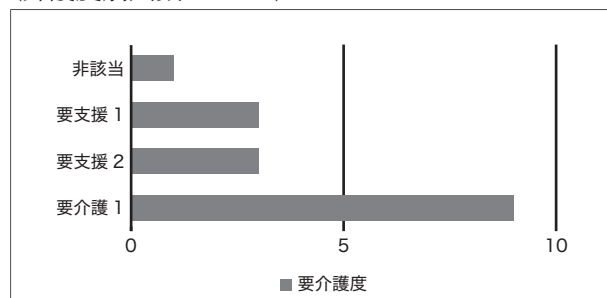
話し、笑い、そして小さな変化を見逃さない」これを心掛けて努力してまいりました。

それに、毎月の誕生会、外出支援としての買い物や外食などのイベントを通して、みなさんに季節感を味わってもらいながら生活を送っていただけるような環境作りにも心がけました。

「社会福祉施設でありながら高齢者の住まい」として外部サービスを利用するケアハウスですが、有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅など充実・整備されつつある現在、施設の在り方が大きく変化しています。ケアハウスの待機者も自立された方よりも何らかの支援が必要な方が増え続けていますが、地域包括ケアの一翼を担うべく、自分で自分のことができる間は住み慣れた街で、外部サービスを利用しながら生活をしていただけるような「選ばれる、そして魅力ある施設」づくりを目指します。そして、自分たちに今、何ができるのか、そして何をすべきなのかということを常に考えながら、平成30年度もしっかりと前を向いて進んでいきたいと思えます。

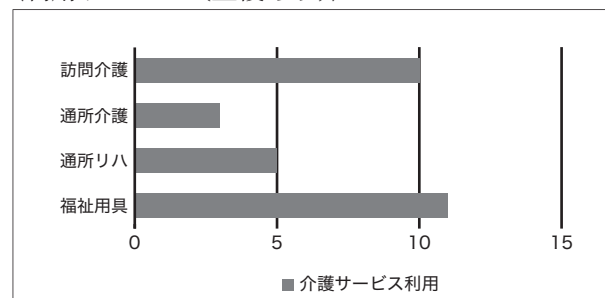
<介護度別人数 N=16>

H30.3.1 現在



<利用サービス (重複あり)>

H30.3.1 現在



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
19名	19名	19名	20名	20名	20名	20名	17名	17名	17名	16名	16名

<各月1日現在 定員 20名>

学会等・出張先一覧

自	至	氏名	所属部署	目的	発表	場所
11月29日	11月30日	城 敦司		平成29年度全国軽費老人ホーム協議会「全国職員研究会議(東京大会)」		東京都